



冬の火災安全ーチェックリスト

Fact Sheet 13 – Community Risk Management. Revised 1/11/2005

事実

NSW 消防庁が 2004 年に立ち会った住宅火災は 4,425 件であったが、そのうちの 1,292 件 (29%) が冬に起こったものだった。
(2005 年 6 月 9 日現在の統計による)

自宅の冬の火災安全は大丈夫ですか？

NSW 州消防庁は、住宅を冬の火災から守るために、以下の簡単な安全チェックリストを推奨しています。家族全員が以下の安全項目に従うようにしましょう：

- 最も重要なことは、適当な数の煙警報機を家中に設置し、それらを定期的に点検することです。
- すべての部屋から安全に避難する 2 通りの方法を知っておきましょう。
- 火災の際の避難計画を紙に描き、定期的に訓練しましょう。
- 絶対に加熱中の料理から目を離さないでください。
- 家に暖炉がある場合は、煙突の中をきれいに保っておきましょう。
- 暖炉を使用する場合は、必ずファイアースクリーンを取り付けましょう。
- 電気毛布は破損箇所やコードの擦り切れがないか確認してからベッドに置きましょう。
- カーテンやテーブルクロスや布団を持ち運び可能な暖房機に近づけないように注意しましょう。
- 洗濯物を暖房機や暖炉のそばに置いて乾かすときは、少なくとも 1 メートル離れたところに置き、決して目を離さないようにしましょう。
- 乾燥機を使用する際は、毎回リントフィルター（糸くずフィルター）を掃除しましょう。
- 一つの電源に接続する電気製品は一つだけにし、電源を使用しないときはスイッチを切っておきましょう。
- 就寝する際は、ろうそくやその他の裸火を必ず消しましょう。
- ろうそくやその他の裸火を取り扱う際は、常に慎重になりましょう。
- マッチやライターは、子どもの手が届かない安全な場所に保管しましょう。

協力： NSW 州消防庁、NSW 州地方消防隊、
ACT 消防庁、ACT 地方消防隊

詳しくは、地元の消防署か消防センターにお問い合わせいただくか、
ウェブサイトをご覧ください：www.fire.nsw.gov.au www.rfs.nsw.gov.au www.esa.act.gov.au

冬季の火災に関する安全情報

- 電気毛布を点検するには、まずベッドの上に広げ、スイッチを入れて 5 分間様子を見ます。正常に作動していたら実際に使用して大丈夫です。
- 備え付けの暖房機器を取り付ける際は、必ず認可を受けた取り付け業者に依頼しましょう。
- 石油やガスや木を燃料とする加熱装置は年一回保守点検が必要かもしれません。
- ヒューズは、規定容量のものだけを使用し、自動的に電源が切れる安全スイッチを設置しましょう。
- もし可能ならば、消火器と防火用毛布を台所の出口付近に備え置きましょう。
- 絶対に火のついたろうそくや裸火を放っておかないでください。

緊急時には 000 をダイヤルしてください